

(日本史 A プリント(26))

II 近代日本とアジア 5.第二次世界大戦

e、戦局の悪化

1943年のガダルカナル攻防戦以降、日本軍はアメリカなど連合軍の前に後退を余儀なくされ、太平洋の島々では日本軍守備隊の全滅があいつぎ、孤立した兵士たちは飢えと熱病などに悩まされた。

1944年7月には絶対国防圏の一角であった[1 サイパン]島が陥落、アメリカ軍は直接日本本土への空襲が可能となった。こうした事態を受け、[2 東条]内閣は総辞職、[3 小峰国昭]内閣が成立した。

10月、アメリカ軍はフィリピンの奪回をめざして[4 レイテ]島に上陸し、激戦の末これを占領した。これと並行して行われた[5 レイテ]沖海戦で連合艦隊は大敗し、日本海軍は事実上壊滅した。なおこの際はじめて、海軍の[6 神風特別攻撃隊]による体当たり攻撃がなされた。翌1945(昭和20)年3月に[7 硫黄島]を占領したアメリカ軍は、4月には[8 沖縄]本島に上陸し、島民をまき込む3カ月近い戦いの末これを占領した。

①ビルマ戦線… 44/3 インド・[9 インパール]攻略戦を開始→大失敗に

②アメリカ軍など連合軍の反攻展開

→太平洋の島づたいに侵攻＝日本軍守備隊の全滅(「[10 玉砕]」)あいつぐ
アッツ島、タラワ・マキン島など

↓

44/7 [11 サイパン]島陥落(→日本本土が空襲圏内に)

→責任をとって[12 東条英機]内閣総辞職、小磯内閣成立

44/10 米軍、フィリピン・レイテ島に上陸、海軍・レイテ島の海戦で敗北→日本海軍の戦闘力を喪失
→[13 特攻機]による攻撃を開始

45/1 フィリピン・ルソン島、45/2 硫黄島に上陸

③米空軍による本土空襲→1944年末以降、本格化

1945、3、10 [14 東京大空襲]→人口密集地帯への焼夷弾による無差別爆撃を実施

④45/4 米軍[15 沖縄本島]に上陸＝「日本唯一の地上戦」展開

→一般住民94,000人以上が巻き込まれる、少年少女たちも軍人軍属に編成

(「[16 鉄血勤皇隊]」「[17 ひめゆり学徒隊]」)

→沖縄県人の1/4強の15万人が犠牲となる。強制死をせまられたものも

⑤ヨーロッパ戦線の終焉

1943/9 イタリア降伏 1945/5 ドイツ降伏

e. 敗戦

ヨーロッパ戦線では、1943年9月に[1 イタリア]が、1945年5月には[2 ドイツ]も無条件降伏、日本の敗北は必至の情勢であった。軍部はなお[3 本土決戦]をさげんしていたが、小磯内閣にかわった[4 鈴木貫太郎]内閣は[5 ソ連]の和平交渉仲介に希望を託していた。

しかし、ソ連は、1945年2月、アメリカ・イギリスとの3国は[6 ヤルタ]会談を開催、ソ連の[7 対日参戦]

や南樺太の返還および千島列島の譲渡などの秘密協定を結ぶに至っていた。さらに3国は7月[8 ポツダム] 会談を開き、米英および[9 中国]の3国の名で、日本軍への[10 無条件降伏]と日本の戦後処理方針からなる[11 ポツダム宣言]を発表した。

この宣言に対して日本政府が「黙殺する」と評するとアメリカは、2発の[12 原子爆弾]を8月6日[13 広島]に、8月9日[14 長崎]に投下した。また8月8日には、[15 ソ連]突如日本に宣戦布告し、満州・朝鮮に一挙に侵入した。陸軍はなおも本土決戦を主張したが、昭和天皇のいわゆる「聖断」により[16 ポツダム宣言]受諾が決定され、8月14日、政府はこれを連合国側に通告した。8月15日正午、天皇がラジオ([17 五音放送])で戦争終結を発表、9月2日、東京湾内のアメリカ軍艦上で[18 降伏文書]に署名し、4年にわたった太平洋戦争は終了した

①連合軍の対日政策

ア) 1943(S18)11月 [19 カイロ]会談…米・英・[20 中国]首脳による

連合軍の対日政策の基本決定、第一次大戦前の状態に

朝鮮の独立、満州・台湾など中国返還など

イ) 1945 (S20) 2月 [21 ヤルタ]会談…米・英・ソ

3ヶ月後の[22 ソ連]の対日宣戦決定、条件としての南樺太・千島列島の譲渡

ウ) 1945(S20)7月 [23 ポツダム]会談→ポツダム宣言発表(米・英・中・のちソ)

- | | |
|----------------------|----------------------------------|
| 1)軍国主義の除去 | 2)戦争犯罪人の処罰、民主主義の復活強化、自由と基本的人権の尊重 |
| 3)平和的政府の樹立、そのための軍事占領 | 4)無条件降伏の要求 |



日本、黙殺を表明→連合軍側、受諾拒否と理解

② 1945.8.6 [24 広島]・8.9[25 長崎]に原子爆弾を投下

③ 1945.8.8 [26 ソ連]、日ソ中立条約を破棄し対日宣戦→満州・朝鮮に侵入

④ 1945/8/14 日本政府、国体護持(天皇制維持)を条件に[27 ポツダム]宣言受諾を決定
→[28 8月15日]天皇、ラジオ放送で国民に終戦を伝える(「[29 五音放送]」)

9月2日 東京湾上の軍艦において降伏文書への署名

⑤戦争における被害

太平洋戦争のみ 日本軍人・軍属=死者[30 230]万人 一般国民=死者 [31 80]万人

15年戦争全体でのアジア全体の被害者 [32 2000]万人を越える